

令和4年度交流研究員受入れ課題

課題名及び概要	使用可能な機器等	担当部課室等
<p>○ ベクトルタイル多言語地図サイトの構築に関する研究</p> <p>令和3年度から試験公開を行っている多言語地図については、地理院地図の更新内容を随時反映させる仕組みを構築した上で、さらにベクトルタイル化を進め、訪日外国人に対して様々な情報を提供する基盤的なWEB地図サイトとしてその運用システムの構築を目指している。本研究は、そのシステムの構築に加え、更新方法及び運用法等の検討を行い、本格公開を目指すものである。</p> <p>交流研究員として本格公開に関わることによって、今後、WEB地図の分野で活用が広がるベクトルタイル技術の習得、訓練が期待される。</p>	<p>多言語地図ベクトル化システム一式 (データ処理用PC、ソフトウェア、地名データ)</p>	<p>基本図情報部 地名情報課</p> <p>① 最大3ヶ月間 ② 7~11月 ③ 最大2名</p>
<p>○ 各種地理空間情報を用いた3次元地図作成に関する研究</p> <p>国土地理院で保有する空中写真、3次元点群データ、2次元ベクトル地図データ等各種地理空間情報を用いた、効率的かつ高精度なベクトル3次元地図データの作成手法について検討し、その検討結果について整理を行う。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることによって、今後利用の拡大が想定される3次元地理空間情報を作成・活用する技術の習得が期待される。</p>	<p>PC、関連ソフトウェア、各種地理空間情報等</p>	<p>基本図情報部 地図情報技術開発室</p> <p>① 最大2ヶ月間 ② 10~12月 ③ 1名</p>
<p>○ 衛星画像を用いた効率的な地図更新手法に関する研究</p> <p>先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)の衛星画像から、効率的に地図を更新する手法を検討し、その検討結果について整理を行う。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることによって、国土管理や防災・減災などに寄与しうる、衛星画像の解析技術や地理空間情報の更新技術等の習得が期待される。</p> <p>(ALOS-3は、2021年度中に打ち上げをし、運用が開始される予定。)</p>	<p>PC、関連ソフトウェア、各種地理空間情報等</p>	<p>基本図情報部 地図情報技術開発室</p> <p>① 最大2ヶ月間 ② 12~2月 ③ 1名</p>

<p>○ DEMを用いた効率的な地形分類手法に関する研究</p> <p>国土強靱化加速化対策により、災害リスク情報としての地形分類データの早期整備が求められている。しかしながら、現状における地形分類手法は空中写真判読を主体としたものであり時間とコストを要する。近年、航空レーザ測量による高精度なDEMが広い範囲で整備が進んでおり、DEMを解析することにより、地形分類の高精度化・効率化が期待できることから、本手法を研究するものである。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることにより、今後利用の拡大が想定される防災地理情報へのDEMの活用について、技術の習得が期待される。</p>	<p>作業用PC 関連ソフトウェア</p>	<p>応用地理部 地理調査課</p> <p>① 最大3ヶ月間 ② 7～9月 ③ 最大1名</p>
--	---------------------------	--

<連絡事項>

1. 担当部課室

①②③は、受入れを担当する部課室の希望期間等です。申請いただいた課題によっては、調整させていただきます場合がございますので、あらかじめ御了承願います。

①受入れ希望期間

②受入れ希望時期

③同期間内の受入れ可能人数

2. 受入れの選考

受入れ申請書に基づく書類審査で選考させていただきます。よって、応募多数の場合等、受入れ申請機関のご希望に添えない場合がございますので、あらかじめ御了承願います。